

視聴覚教育

メディア論

「光のあそび」を巡るツアー

明治学院大学白金校舎の建築には、「謎の穴」がたくさんあります。
なぜそのようなデザインなのか、何気ないモノに着目すれば、日常が芸術で溢れていることに気がつけます。
その気づきは日常に小さな充実を与えてくれるでしょう。

対象者: 学生 新1年生

1. 明治学院記念館の小チャペル

小チャペルにはデザイン性のある窓があります。

その窓から差し込む光を感じると照明光よりも暖かい感じがします。



2. 本館とパレットゾーン白金の間にある 自販機コーナーの壁

小さな小窓のようなデザインが施されています。

もしもこの空間にこの穴がなかったら…実際にふさいで確かめてみると暗く感じられます。



3. パレットゾーン白金 生協前

生協前は、丸い穴が開いた天井デザインです。

この穴があることで、コンクリートに囲まれた空間が不思議と柔らかくなるのです。



4. 三号館前

この場所も天井に穴が開いています。

同じく天井に穴が開いていた3の生協前との違いは何か考えてみると…
ここでは光と緑のコントラストを楽しむことができます。

